

会議等の意見対応

■ 第 3 回策定委員会 (5/24)

No	資料	主な意見・指摘事項	対応・方針
1	資料 2 P26	P26 ページの人口密度が今後減っていくということだが、「これを維持することとします。」という表現はிரらないのではないか。 (富永委員)	文章を修正しました。
2	資料 2 P28	28 ページの産業系市街地の拡大が必要な面積について、商業と工業は用途を区別する必要があるので、別々に分けるべきではないか。 (嶋田委員長)	愛知県のフレームの考え方を踏襲し、商業系と工業系を合わせた産業系として拡大面積は算出することとしますが、文章ではそれぞれの見込み額を記載しました。
3	資料 2 P33	33 ページで、公共交通基幹軸のうち路線バスが図中に描かれていない。 (嶋田委員長)	知多バス上野台線、横須賀線を公共交通基幹軸としてルートを追加し、線の色の修正等を行いました。
4	資料 2 P34	太田川駅周辺を都市拠点・広域交流拠点として拡げ新たに交通拠点を被せたということか。太田川駅は交通拠点として何をしていくのか。 (谷口委員)	太田川駅は交通拠点であることも含めて、都市拠点・広域交流拠点であるため、交通拠点の記載はせずに、都市拠点・広域交流拠点のみの記載とします。 また、聚楽園駅も同様に交通拠点の記載はせずに、健康福祉拠点のみの記載とします。
5	資料 2 P34	太田川駅は都市拠点・広域交流拠点だけにしてよいのでは。 (嶋田委員長)	
6	資料 2 P34	都市計画道路瀬戸大府東海線も 4 車線化を進めているので、将来都市構造図中で何らか触れてほしい。 (神谷委員)	P38 の「③交通体系の骨格」の「<幹線道路軸>」の説明欄に 4 車線化について記載するとともに、P43 の「エ 幹線街路・道路」においても路線名を記載することとしました。
7	資料 2 P38	農地はグリーンインフラという側面や、防災にも関係してくるため、もう少しそういった面を踏まえて、維持・保全していくところは保全ということを検討してください。 (嶋田委員長)	グリーンインフラや防災というキーワードを追記して、文章を再考しました。
8	資料 2 P41	現在バス停がない場合は…、という箇所についてニーズがあれば、という表現に修正をした方がよい。 (神谷委員)	バス停の設置の予定があるため、文章を修正しました。

9	資料 2 P41	鉄道駅周辺においては…、に関してここで自動運転を出すのは違うような気がする。自動運転が多様な世代の利用を促すという意味で、少し違和感を覚える。(神谷委員)	文章を再考しました。
10	資料 2 P41	各地でグリーンスローモビリティが使われはじめ、それが自動運転になるという話はある。まずはグリーンスローモビリティが良いと思う。(嶋田委員長)	グリーンスローモビリティというキーワードを追記して、文章を再考しました。
11	資料 2 P41	41 ページ交通施設等の整備方針 2 項目、「～駅など」と表現しない方がよいのでは？可能性のある駅名は記載してよいと思う。(嶋田委員長)	八幡新田駅の駅前広場の整備は必要であると考えていますが、整備を進めることは現時点では困難な状況ではあることから、具体的な駅名は示すことはせずに、整備できるタイミングがきたときに速やかに事業化できるように「など」の表現にしていきたいと考えています。
12	資料 2 P44	歩行者自転車ネットワークについて、歩行者通行空間については記載があるが、自転車通行空間の整備についての記載があると良い。(嶋田委員長)	自転車通行空間の整備について記載しました。

※資料番号、資料ページは第3回策定委員会の資料に対応